

## 交通対策

### 56号バイパス完成見込は

### 平成28年度以降供用開始



やま さき まさ お  
山崎 正男 議員

本村・芝で約7%が契約完了。紆余曲折の中、説明に相当費やしたのが遅延した要因。

バイパス完成後は、道路幅員が広がるため緊急避難路として活用可能。浜の宮、新町、万行地区の避難経路を確保したい。騒音は現在よりは低くなる。照明は河川国道事務所に要請する。現国道は改良完成まで補修の協議をしていく。

新庁舎が出来てからでない  
と現庁舎は取り壊しは不可。  
遅延しないように取り組む。

**問** バイパスの完成はいつ頃になるか。完成見込みが平成28年度は間違いないか。進捗率はどうか。13年間も要した原因は何か。住民が早く安心できる決着を。

地域への津波・騒音・照明対策への配慮はどうか。

庁舎建設との関係でバイパスの遅延はないか。

**答** 武政まぢづくり課長

平成28年度以降供用開始する見込み。35%を買収済み。浜の宮・早咲で約88%、入野

### 新町史

資料収集と編纂は

予算化はしない

**問** 過去の貴重な資料が失わ

れる中、行政の保管資料・住民の持つ写真や資料の収集及び編纂は出来ないか。合併前の漁民史や町史を編纂すべきと思うが。残すべき写真や資料の取り扱いや保管をどのようにするか、現状と今後の取り組み方を聞く。

**答** 坂本 教育長

黒潮町史として予算を組んで収集には取り組まない。

寄贈資料は、出来る範囲各所管課で保管を行なう。

### 漁業対策

魚場を確保

できないか

県へ漁礁設置を  
要望中

**問** 漁礁を設置した魚場の追跡調査や効果測定を実施しているか。漁礁の設置をどう考えるか。

漁民が安心できる魚場を確保するために国、県に一層の協議要望をすべきではないか。

**答** 浜田 海洋森林課長

佐賀地域では平成9年から11年の沈設漁礁の効果として、漁獲量は計画より下回っているが、魚場を探す手間や燃料など費用は節減された。大方地域では築磯・エビ礁は21年度実績は計画を下まわったが、高齢漁業者の魚場と就労場の確保で漁家の経営安定が図

られたと考える。漁礁は沿岸漁業の柱として考えている。

幡東水産振興会と県に佐賀沖へ漁礁設置を要望している。

**その他の質問**

※用地取得考え方について  
※広報等周知方法について



早咲地区よりバイパス工事始まる